

横浜の「熱い」2日間 家電フェア2007 & 大処分蚤の市



6.30 & 7.1 パシフィコ横浜

「ハマの大魔神」や「ウルトラマン」も大集結!

6月30日～7月1日、ヤマダ電機はパシフィコ横浜において「家電フェア2007&大処分蚤の市」を開催。2日間合わせて10万人以上が来場するという大盛況に終わった。

初日に行なわれたオープニングセレモニーには、ヤマダ電機・山田昇社長、東京放送(TBS)・平本和生常務、ソフトバンクモバイル・富田克一副社長らが出席。

主催者を代表して挨拶に立った山田社長は「話題の商品、注目の商品、楽しい商品などを豊富に用意。イベントも充実しており、心ゆくまで楽しんでいただきたい」と語った。そして「こういう場を通して、当社の考え方を少しでもご理解いただければうれしい限り。関係者全員が頑張っており、楽しい催しとなることをお約束します」と締めくくった。

運営の見直しで待ち時間を短縮化

同フェアは基本的に、お買い得品・超特価品コーナー「大処分蚤の市」、メーカー各社が新製品を提案する「メーカーブース」、そしてタレントやスポーツ選手などが多数登場する「イベントコーナー」の3本柱で構成されており、このコンセプトは第1回から共通している。

しかし3回目となった今回は、蚤の市の在庫量を大幅に増や

したり、イベント内容を一層濃くするなど、過去最高のスケールとなった。しかも、「過去2回で得たノウハウをもとに、運営上の見直し点や課題をピックアップ。さらに便利に楽しんでいただけるようになった」とヤマダ電機・一宮浩二副社長という。

例えばレジ台数を大幅に増やしたり、配送・工事カウンターの担当者を増強するなどして、「できるだけお待たせしない体制を構築した」と一宮副社長。また、JR桜木町駅とフェア会場とを無料シャトルバスで結ぶなど、アクセスのしやすさへの配慮もなされた。

こうしたことも奏功してか、会場内には家族連れの姿がこれまで以上に多く見られた。キッズコーナーからは終日、子供たちの歓声が途切れることなく、また、メーカーブースでも各社が子供向けのミニイベントを開催。多数の家族連れを楽しませていた。

「全メーカーの新製品を一堂に見られるチャンスは、お客様にはなかなかない。家電フェアが、そのためのよい機会になるはず」という山田社長は、「各社の新製品のよさを、一人でも多くの方に知っていただきたい。その上で1日をご家族で楽しく過ごしていただきたい」と語っていた。



30日にはFM横浜がフェアの様子を生中継。

メーカーブース

最新モデルを「試せる」と「買える」

メーカーブースでは各社が最新モデルの展示提案やフェア限定特別価格モデルの販売を行なった。デジタル家電だけでなく、エアコンや冷蔵庫、洗濯機や電子レンジ、クリーナーなどの最新型が用意され、メーカー説明員による試用体験や製品解説などが行なわれた。また、家族連れを意識したミニイベントを用意するメーカーが多く、子供たちにも楽しめるブース作りがなされていた。



子供たちの一番人気だった「ウルトラヒーローショー」

スワンP・デルタ・ロックカフェは初日のトップと最終日のトリを務めた。

型はLIVEだけでなく、福永ちか(左)とのトークショーにも出演。



パは日ハムが抜け出しそう

プロ野球解説者
(元横浜ベイスターズ&シアトル・マリナーズ)

佐々木主浩

-- 今シーズンのプロ野球は、
佐々木 セは離れてきちゃったね。巨人がこれだけ強いとは思わなかった。シーズン前の予想では、巨人は横浜との3位争い。首位攻防は中日と阪神だと思っていた。若手投手陣がよくなってきたことが要因だね。打つのはもともとよかったから。でも、小笠原は巨人ではなく、中日に行くと思っていた。落合監督が絶対に取りにいくだろうと。

-- 古巣の横浜も健闘している。
佐々木 まだ、ついていっているね。健闘している理由は何かなあ。もともと力のあるチームだしね。大矢監督が戻ってきたことが、よかったのだと思う。大矢監督って穏やかそうに見えるでしょう。でも、本当はめちゃくちゃ短気。試合中は本当に短気ですよ。僕はほとんど怒られた記憶がないけれど、谷繁(現中日ド

ラゴンズ)はけっこう怒られていたね。大矢さんにはコーチ時代から指導を受けていたからね。

-- パはどうですか。
佐々木 拮抗しているけど、やっぱり日ハムかな。ピッチャーがいい。ダルビッシュとかね。ダルビッシュはこの間、初めて僕の所へ挨拶に来たんだ。「東北高校出身のダルビッシュです」って。今までちゃんと会う機会がなかったんだ。怖がっているのかなあ、俺のこと。そんなことないんだけどね。やっぱり可愛い後輩だから(自身も東北高校出身)

後輩といえば阪神の金本も、東北福祉大学の後輩。彼は僕のボディガードですよ。大学時代は夜中に寮の部屋で、ボディビルをやっていた。肋骨を骨折したした時も、たった2週間で復帰してきた。昔から鉄人なんだよ。(敬称略)



プロレスは原点に戻るべき

全日本プロレス

武藤敬司

武藤 プロレス界のヤマダ電機を目指すべく、今日は勉強しにやってきました(笑)。ヤマダ電機は業界のトップを走ってますが、プロレス界で常に最先端のことをやっているのは俺なんです。曙やボブ・サップを真っ先にプロレスのリングにあげたのもうちだしね。

-- 武藤選手はグレート・ムタというもう一つのキャラクターでも活躍してますね。
武藤 彼は俺の化身だから(笑)。でも、グレート・ムタは日本の家電メーカーと同じで、海外で通用する唯一の日本人レスラー。それほど突出したキャラクターなんだよね。

-- 確かにアメリカでの人気はすごいですね。

武藤 今の日本人レスラーは小さな選手が多い。でも、俺は188cmある。しかも、でかくて動きがいい。だから通用

するんだろうな。

-- ご自身も大きな選手がお好きですよ。

武藤 そう。昔からヘビー級が大好き。デカフェチだから(笑)。ただし、今の全日本プロレスは、ジュニアヘビー級のクオリティもかなり高い。ぜひ、彼らの試合も注目してほしいですね。

-- 今後の方向性は?

武藤 今、プロレス界は原点に戻るべき時期じゃないかな。俺はハッスルにも出ているけど、あちらは話題先行型。そうではなくて、プロレスの職人をたくさん育てたい。そういう集団にしたいですね、全日本プロレスを。

今日はせっかくの家電フェア。皆さん、CSテレビチューナーを買って、ぜひ俺の格好いい試合をスカパーで見てください。(敬称略)

法人コーナー

オフィスの必需品を丸ごと提案

今回の家電フェアでは法人コーナーの品揃えも、前回以上に充実していた。まず大きく目を引いたのがNECの4面マルチディスプレイだ。大画面はブームであるが、その中でも4面マルチのインパクトはピカイチ。多くのユーザーがしばし足を止めて見入っていた。

また、話題のドクター・ベン・ライトも最新バージョンを展示。応答性の速さに、さらに磨きがかけていた。変わったところではフィットネスマシンの展示が目玉を引いた。10分間乗るだけという手軽さを、多くの人が実際に体験。これがオフィスに1台あるだけで、社員の福利厚生もバッチリだろう。

他にもレーザー複合機やプリンター、パソコンやプロジェクター、そしてIT周辺機器や監視カメラ、耐火金庫などとオフィスの必需品を網羅。フェア会場限定の特価品まで用意されており、人気を集めていた。

